

自動化による生産性向上と付加価値向上を実現し、新医療市場を創生していく

1967年1月、静岡県富士市にプラスチック原料加工工業として創業開始、プラスチック成形・着色を行う医療機器・医療部品製造メーカーである。本社工場は医療機器製造販売業許可を取得、製品は様々な知財を取得している。現社長は2013年より当社社長に就任し、先代からの目標の下請からの脱却、自立企業を目指し、自社商品の開発と他社に頼らない経営に着手した。徐々に売上を伸ばし製造販売の基礎を築いた。

●所在地 静岡県富士市厚原2104-1

●電話/FAX 0545-71-2023/0545-71-8429

●URL <http://www.resin.co.jp/index.html>

●代表者 代表取締役社長 井出 茂昭

●設立 1967年

●資本金 1,600万円

●従業員数 80名



プラスチック微細加工技術による製造販売と新医療市場開拓

プラスチック製品の微細加工と成形技術に長け、「マイクロコーン」という微細突起を保持し、痛みや可動域の改善効果のある医療機器（商品名：ソマセプト及びソマレゾン）を開発、製造し販売している。 μm レベルの成形技術を保持し量産販売する会社は少ない。医師や療法士をはじめ多くの施設で導入され、新たな簡便な治療方法として活用されている。また公益に寄与することを目的に地域疼痛ケア協会を設立し、企業の枠を超えたビジネスモデルへ挑戦している。



主力製品を製造する工場

AIとIoTの活用による作業効率と品質向上の実践

①AIロボットを製造ラインへ導入し、不良品の出ない製造システムを構築したことで原材料の無駄を削減し、作業効率の向上に繋がっている。②AI及びIoTを活用し、作業員の作業状況改善を実施し、人件費用の抑制と品質の安定的な担保を行っている。③全ての工程で画像装置やIoTを導入することで、自動機の簡略化と更なる効率化とコストダウン達成、及び品質と付加価値の向上を実践している。



工場で活躍するAIロボット

作業標準化と多能工化による人材活用

安定した製造を可能にするため、従業員教育の一環としてISO13485及びQMS（医療機器製造に関する手順）等の作業標準書の整備を通じ標準化を進めている。標準化が困難な作業にはOJTを中心とした教育計画を作成、従業員に対し定期的な研修を行うとともに、より効率を向上するための技術開発や製造システムの検討に活用し、製品開発能力、設計能力の向上に努めている。作業の標準化により空いた人員・時間を、ものづくりのみに囚われない教育訓練を行い、人材の有効活用を実践している。



積極的なセミナーへの参加